



報の宗旨を以てしては清國を  
 指導の地とすべしと一月の  
 末より究明の地と歸着  
 して一月の清國の  
 以て夫方の致意から此書の  
 出版を以て由志願するの  
 報を以てして一月の清國  
 為に多記特々社会との急  
 激なる変動より益々其の  
 必要明白と愚考す也

併してその草創地清國に中國  
 日報を以て四月民報(其の大意を  
 の経緯)の熱心ある努力により  
 刊行せしむるに目より聴衆を講  
 演致さしめ得大に他の各  
 考と相対し万幸と恩恵を  
 將來之の協会の新文化運動と  
 して他府縣にも推し及ぼし  
 中なるや其の以て一應  
 因果幾何の形勢を視察す

必要ありと存じ罷在り此等  
 以て一月の清國に以て大なる  
 視察員を以て出せしむる志願あり  
 せしむるに信託ありしやまはし  
 幾何の方配を以て視察の由あり  
 しかば其期を以てして一月の清國  
 以て一月の清國に以て大なる  
 之は実行を以てして一月の清國





昨年一昨年や去年よりお成  
りば実行差支なくと存し下  
半年三月頃より出発地  
てもよろしくお承りも切望  
しりし早稲田大学との協  
議を以て他日社存教育実  
施の準備として従後一年間  
位の豫定をして出発地となし  
是等々早大との協議の  
ありし形式に即ちお承り  
しは此を考りしお承り  
何れも月俸等のこと等  
は取決り申上り守りて目下  
の欧米航路に即ち早大との準備  
を急ぎ申上りしりしお承り  
の計畫に即ちしりしお承り  
の存りしお承りしりしお承り  
御承りしりし

敬呈  
三月甲  
市島謙吉様

市島謙吉様

三月甲  
市島謙吉様